

# 朝日生命成人病研究所附属医院に通院中の皆様へ

診療記録を利用した後ろ向き観察研究への協力をお願い

研究課題：2型糖尿病患者の初診後肝線維化指標の変化についての探索的研究

## 【研究の背景・概要】

2型糖尿病は、NAFLD (nonalcoholic fatty liver disease 非アルコール性脂肪性肝疾患) および関連する合併症の素因となることが知られています。NAFLDの一部の症例は、肝線維化が進行し、肝硬変や肝がんとなる危険性を持っており、早期発見が重要と考えられています。NAFLDの管理は、ライフスタイルの変更、体重減少、および習慣的な身体活動については研究が進んでいますが、効果的な薬物治療はないとされています。現在、いくつかの薬物で改善する可能性が示されているものの、長期に効果が持続するか十分検討されていません。そこで今回2型糖尿病患者の糖尿病薬の服用の有無と肝線維化指標の進行との関連を調査することとしました。

【対象となる方】 2000年～2022年の間に朝日生命成人病研究所附属医院を初診した2型糖尿病のある方

【研究方法】 この研究は、朝日生命成人病研究所の倫理審査委員会の承認を受けて実施するものです。

調査項目：カルテにある以下の様々な情報を取得します。性別、病名、糖尿病の経過、肝臓病など過去の病気に関する既往、血液検査結果、他の検査結果、治療に関する情報

## 【研究機関名および研究責任者氏名】

研究機関 朝日成人病研究所附属医院 糖尿病代謝科 研究責任者 菊池貴子

共同研究機関 明治薬科大学 教授 櫛山暁史 赤沢学

五十嵐千都 神山奈子 山口知紗 五藤由奈 高橋雅弘

【研究期間】 朝日生命成人病研究所附属医院倫理委員会承認後～2026年3月31日

## 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集されるデータなどは外部漏洩がないように慎重に扱います。診察券番号、氏名、住所、生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたにも分からないようにした上で、個人情報管理担当者にのみ使用できるパスワードロックをかけた別媒体で厳重に保管します。ただし、必要な場合には当研究室に置いてこの符号を元の氏名に戻す操作を行うことはできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局までご連絡ください。

研究結果は、個人が特定できない形式により学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。

【問い合わせ先】 朝日生命成人病研究所 連絡担当者：菊池貴子

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 2-2-6 [TEL:03-3639-5501](tel:03-3639-5501)、[Fax : 03-3639-5520](tel:03-3639-5520)